

2025年度戦略的研究助成事業 認定事業

＜公募型＞

No.	申請者	事業名	実施時期・場所	外部資金獲得活動	申請金額	交付金額(案)
1	研究代表者 小林 直樹 教授	研究書(単著)出版事業 仮題『情報公開の事例研究』	時期: 2025年4月1日～2026年2月末日	有 2025(令和7)年度公益財団法人青森学術文化振興財団助成事業	400,000 円	400,000 円
2	研究代表者 佐々木 てる 教授	伝統文化のアーカイブ化	時期: 2025年4月1日～2026年2月28日	有 2025(令和7)年度公益財団法人青森学術文化振興財団助成事業	698,000 円	350,000 円
			場所: 大阪、京都、鳥取、青森、山形、北海道など			
3	研究代表者 佐々木 てる 教授	青森公立大学 公開講座 経営塾	2025年6月5日～2025年7月17日	有 2025(令和7)年度公益財団法人青森学術文化振興財団助成事業	189,000 円	189,000 円
			場所: 青森市男女共同参画プラザ「カダール」AV多機能ホール			
4	研究代表者 佐々木 てる 教授	青森公立大学 公開講座 ねぶた学	時期: 2025年10月21日～2025年11月22日(予定)	有 2025(令和7)年度公益財団法人青森学術文化振興財団助成事業	189,000 円	187,000 円
			場所: 青森市共同参画プラザ「アウガ」 AV多機能ホール			
5	研究代表者 丹藤 永也 教授	英語科における生成AIの効果的な活用法に関する研究事業	時期: 2025年4月1日～2026年2月28日	有 2025(令和7)年度公益財団法人青森学術文化振興財団助成事業	185,400 円	14,000 円
			場所: 長崎大学、三重大学			
6	研究代表者 野坂 真 准教授	地域主体の防災と事前復興に向けた研究の充実のための事業	時期: 2025年4月1日～2026年3月31日	有 2025(令和7)年度公益財団法人青森学術文化振興財団助成事業	297,000 円	150,000 円
			場所: 青森公立大学、岩手県大槌町(特に安渡地区および須賀町・栄町)、青森県むつ市(特に大畑地区)			
＜公募型＞合計					1,958,400 円	1,290,000 円

＜指名型＞

No.	提案者	事業名	実施時期・場所	申請金額	交付金額(案)
1	提案者 香取 真理 教授	カンボジアPhnom Penhで開催される The 22nd Annual CamTESOL Conference への参加事業。	時期：2025年8月1日～2026年3月31日	586,880 円	300,000 円
			場所：カンボジアPhnom Penh		
2	提案者 藤沼 司 教授	浅虫まちづくり協議会への継続的な参与観察及び「浅虫のWA」等の企画運営	時期：2025年4月1日～2026年3月31日	32,500 円	32,500 円
			場所：青森市浅虫地域		
3	提案者 野坂 真 准教授	少子高齢化が進む半島地域における防災と災害復興に関する研究 —能登半島地震および能登豪雨の被災地域でのアクション・リサーチより—	時期：2025年8月1日～2026年3月31日	413,500 円	200,000 円
			場所：主な調査対象地域として輪島市		
＜指名型＞合計				1,032,880 円	532,500 円

＜公募型＞、＜指名型＞総額		
申請額		採択額
2,991,280 円		1,822,500 円

2025年度戦略的研究助成事業 認定事業

＜顕彰＞

No.	氏名	(1)	(2)	(3)	※	交付金額(案)
1	長岡 朋人 教授	○		○	○	100,000
2	野坂 真 准教授	○		○		100,000
3	エンアナ ベネス 講師				○	10,000
4	江連 敏和 准教授		○	○		10,000
5	香取 真理 教授		○	○		10,000
6	神山 博 教授			○		0
7	橋本 悟 教授		○	○		10,000
8	本田 明弘 教授				○	10,000
9	安田 公治 講師			○		10,000
10	山本 俊 准教授				○	10,000
＜顕彰＞合計						270,000 円

青森学術文化振興財団奨励賞、日本古病理学研究
会大会発表賞
日本都市学会賞(奥井記念賞)

0 辞退

(1)	本学専任教員の研究成果の発表(学会発表、著作物の刊行又は学長が研究成果の発表と認めるもの)の結果、他機関から賞(学長が賞に準じるものと認めるものを含む)を受賞した場合
(2)	国際的な研究成果の発表の場において、本学専任教員自らが、研究成果の発表をした場合(共同研究者がいる場合も含む)
(3)	本学専任教員が所属する学会において、本学専任教員自らが、年度内に2回以上、研究成果の発表をした場合(共同研究者がいる場合も含む)
※	単著の論文、または共著者がいる場合、第一著者である論文を年度内に2回以上発表した。国際的な研究成果の発表の場に論文を投稿した。

公募型・指名型
採択額(案) 1,822,500
顕彰採択額(案) 270,000
合計 2,092,500